

新たな時代を担う人材育成と 研究力の強化について

令和3年5月14日
萩生田臨時議員提出資料



1. 「Society5.0」における子供たちの学び

「Society5.0」

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題解決を両立する人間中心の社会

我が国が目指す未来社会像

直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現できる社会

「Society5.0」において育むべき子供たちの資質・能力

子供たち一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること

これまで

- (1) 幼児教育や高等教育の無償化
幼児教育の無償化や高等教育における給付型奨学金の創設など、保護者の就労・経済状況によらない教育機会の安定的確保（セーフティネットの整備）
- (2) 小中学校における1人1台端末の整備
GIGAスクール構想の大幅な前倒しにより、子供たちのデジタル学習環境を整備
- (3) 35人学級の実現に向けた義務標準法改正等
小学校35人学級の計画的な整備を進めることとし、義務標準法改正等を実施

これから

引き続き、ICT活用と少人数学級を両輪として進め、質の高い教師の確保や学校施設などの教育環境を改善

- ・多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「**個別最適な学び**」
- ・子供たちの多様な個性を最大限に生かす「**協働的な学び**」

を一体的に充実し、

質の高い学び

の実現へ 1

2. 「令和の日本型学校教育」の実現に向けた取組

デジタルならではの学びの推進

学習者用デジタル教科書の普及促進
CBTシステム（MEXCBT）の充実
学習履歴など教育データの分析・利活用の推進



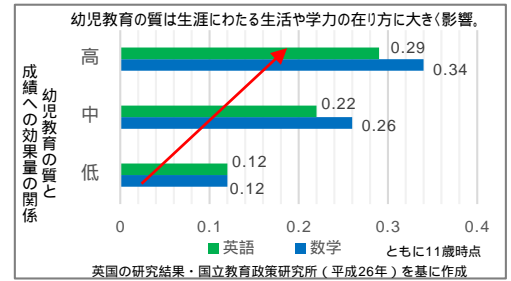
リアルな体験を通じた学びの推進

教師と子供、子供同士の関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動、専門家との交流等の充実
自然体験活動、文化芸術活動の推進

全ての子供が **格差なく 質の高い学び** へ円滑に接続
(日本人学校等の子供を含む。)

幼児期からの学びの基盤づくり

「幼保小の架け橋プログラム」を通じた全5歳児の生活・学習の基盤保障
0歳からの発達支援・子育て家庭への支援
幼児期からの子供のデータの蓄積・活用による一人一人の発達把握、早期支援等



教師等の指導体制の充実・質向上

小学校35人学級の計画的な整備、その効果検証等を踏まえ、中学校を含め学校の望ましい指導体制の在り方の検討
小学校高学年における教科担任制の推進、外部人材の充実
教員免許の在り方の検討、更新制の抜本的見直し
教員養成大学・教職大学院の機能強化
幼児教育を支える保育者の確保・資質能力向上



学校施設の計画的・効率的整備

新時代の学びに対応するため、長寿命化改修等を通じて、老朽化対策と教育環境の向上を一体的に推進
地域コミュニティの拠点として、複合化・共用化を推進



多様な学習に柔軟に対応



子育て支援センターとの複合化

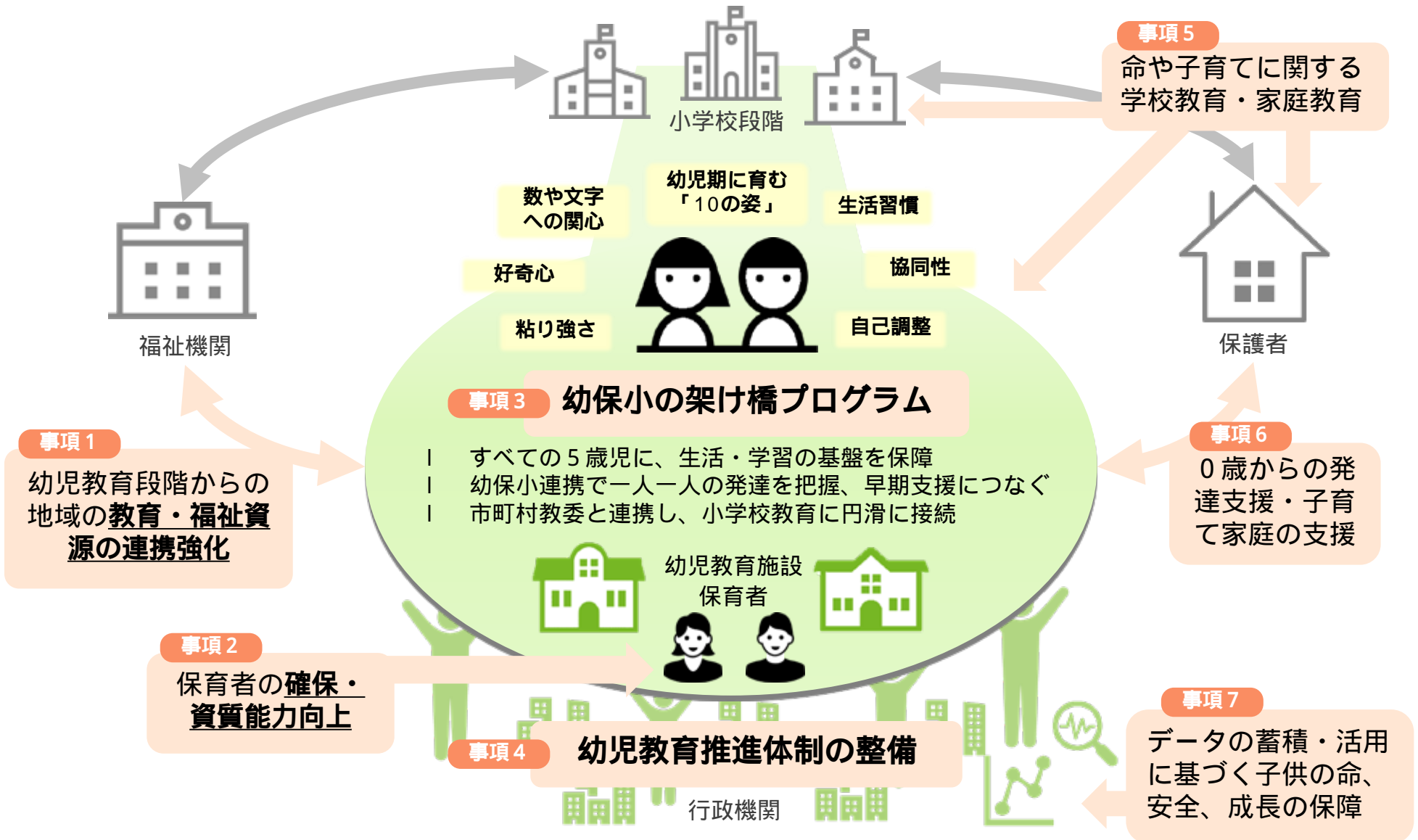
専門人材の活用

いじめ、不登校、虐待、自殺防止等、子供の安全や学びを守るためのSC、SSW等の配置の充実、家庭・福祉との連携強化

幼児教育スタートプラン（仮称）のイメージ

参考資料より抜粋

以下の事項を、幼児期の教育に関する基本的な計画として位置付け、一体的に実行することで、子供の未来への架け橋となる社会システムを構築。



市町村等による一体的な幼児教育推進体制の整備、アドバイザー派遣で保育現場を支える